



育ちの芽

副園長 奥村 綾

～新年度スタート～

6月1日から分散登園が始まりました。初日はやはり緊張している子ども達の様子が見られました。1日おきに幼稚園に来るということで慣れるのも時間がかかったり、生活リズムをつかむのもなかなか難しいと思いますが、少人数を多くの先生達で見ることが出来る分散登園をプラスに捉え、少しずつ少しずつ幼稚園に慣れていけるように、先生達は一人ひとりとじっくりゆっくり関わっています。

朝登園し、保育室で出席ノートにシールを貼り、準備ができた子から、園庭や保育室で遊ぶ『うきうきタイム』。

園庭やピロティでは、段ボールや大きな紙に、ローラーでえのぐを塗り広げたり、ダイナミックに手のひらにつけたりしながら、色が混ざる様子を楽しんだり、手形や足形を押ししたりしています。えのぐが手につくことが苦手な子ども達は、綿棒にえのぐをつけ、好きな色の紙や段ボールにチョンチョンと絵を描いています。サインペンで紙に色を塗り、水につけると・・・色水が完成!!容器に入れて光にかざし、キラキラしている様子に歓声をあげて喜んだり、「ぶどうジュースが出来ました!」と持って来てくれる子もいます。

保育室には、休園中に職員が作成した手作り玩具(フェルトや毛糸で作った物)があり、炊飯器にあるご飯に見立てた“花はじき”“チェンリング”に混ぜて焼き込みご飯を作ったり、餃子の皮に見立てたフェルトに赤い材料を包み、『辛い餃子』を作ったりして、見立て遊びが盛り上がっています。

また、ひじり tube で投稿したシェービングフォーム遊びやスライム作りなど思い切りできるように、廊下にコーナーを設定したり、カードゲーム等も、密にならないように工夫しながら取り組めるようにしています。

保育室や園庭に子ども達の元気な声が響き、それぞれ思い思いの場所で過ごす姿を見て、ようやく幼稚園がスタートできたなあと、しみじみと嬉しい気持ちになりました。

幼稚園がお休みの間、家で花を育てたり、ゲームやトランプをしたり、公園に行ったりしたことを嬉しそうに話してくれました。ひじり tube を見て家族と一緒に踊ったり、絵本の読み聞かせを毎日楽しみにしていた話もしてくれました。

おうちの方にとっては、大変で不安な日々をお過ごしだったことと思いますが、子ども

達にとっては、おうちの方とゆったりと充実した日々を過ごしていたことが、表情から伺えました。保護者の方や先生は、長い長い2ヶ月が過ぎ、ようやく幼稚園が始まったという感覚ですが、子ども達は、出席ノートにシールを貼るとき「なんで4月は貼らないの？」と4月・5月が過ぎていった感覚がなく、不思議そうにしている子が多くいました。

先生達は、4、5月のことを子ども達にきちんと伝えることが大切と考え、4月・5月の誕生児をお祝いする日に、写真やお話を通して、昭和の日、子どもの日、母の日、父の日などの祝日や季節の移り変わりなど、過ぎた日々を振り返る日にすることにしました。

分散登園が終わり、いよいよ来週からは、年長・年中の給食が始まり、本格的に幼稚園生活がスタートします。全園児が登園し、給食が始まるということで、『3密を避ける』ことが難しくなってきますが、様々な制限がある中でも、大切にしたいこと『とにかく子ども達が楽しめることを一番に考えよう』と、今後の保育や行事についても、職員で話し合いを重ねています。

プール遊びに関して、水中感染リスクは低いとされていますが、『密集・密接の場面を避けて行うこと』等の制限があります。保護者のみなさんに、着替えや準備、移動等のお手伝いをしていただけない中、例年通り学年ごとに日程を組んでプール遊びを行うことは困難です。各クラスで行う、3階と1階に分かれて行う等、できるだけ密を避けて行えるよう職員で考慮し、水遊びや泥んこ遊び等、この時期ならではの遊びを取り入れていきたいと思えます。詳細は後日お知らせします。

また、日本の伝統文化である七夕について、園内に多くの保護者の方が集まることが出来ないため、七夕まつりの行事は残念ながら中止ですが、七夕の雰囲気味わえるよう先生達からいろいろな提案をし、子ども達が楽しめる日にしようと考えています。保護者のみなさんへは、写真や動画、クラスだよりで配信していきたいと思えますので、ご理解よろしくをお願いします。七夕についての詳細も後日お知らせします。

～クラスだより～

自分のお子さんのクラスだけでなく、学年のクラスだよりを配信します。クラスによって配信日や配信枚数が異なることもありますが、いろいろなクラスの様子をご覧になって子どもの育ちを共有できればと思います。

～外国人講師～

本園では、外国人講師が来園し、自然と英語に親しめるようにしています。今年度は、毎週火・水・金曜日に、ロメル先生とリリー先生が交代で来園します。16日(火)から感染対策を行ったうえで、保育に参加します。